

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年7月13日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0171400765		
法人名	医療法人 富田病院		
事業所名	高齢者グループホーム あねもね		
所在地	函館市日吉町4丁目7番83号 (電話) 0138-32-3223		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年5月30日	評価確定日	平成19年7月13日

## 【情報提供票より】(平成19年5月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 14年 4月 1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	16 人 常勤 16人, 非常勤 人, 常勤換算 16人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	1階建ての 1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	12,000 円	
敷 金	有( 円)	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,500 円	

### (4) 利用者の概要(5月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	4	要介護2	5		
要介護3	4	要介護4	3		
要介護5	2	要支援2	0		
年齢	平均 85.8 歳	最低	74 歳	最高	101 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	富田病院・吉田歯科・口腔外科ゆのかわクリニック
---------	-------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は緑に囲まれた丘の上に立地し、老人保健施設とケアハウスが隣接している。また、サービスの質の向上に研鑽を重ねており、利用者は自立と尊厳のある生活を日々過ごしている。今後、ますます期待のできる事業所である。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価に基づき、1年間の生活目標計画書を改善計画・事業計画など細かく区別して作成している。また、年度末に総合的に評価の結果を全職員で検討している。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価の実施方法・留意事項を文章化し、評価の結果を全職員で検討し改善に取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議において外部評価の結果を開示し、改善点や取り組み状況を話し合っている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	玄関ホールに苦情・相談窓口が大きく明示しており、家族の意見や要望を積極的に聞き、運営に反映させている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	今のところ、地域の行事に利用者が参加するまでには至っていない。今後、認知症やグループホームの理念への理解を得ることにより、地域との密なる関係作りが期待される。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念の共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「近代医学に基づいた良質・適切・効率的で懇切丁寧な医療・介護を提供し続ける」と掲げている法人の理念に沿いながら、利用者の尊厳と自立した生活を支援し、地域での交流を通して社会性が深まるよう全職員で取り組んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	週に1度のミーティングや月に1度の全体会議において、全職員で理念について話し合っている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	今のところ利用者が町内会行事に参加するまでには至っていない。	○	町会代表者が運営推進会議に参加しており、今後、事業所と地域との交流が深まることが期待される。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価結果を踏まえ、年間の目標計画書を作成し、家族にも分かりやすいようにホールに掲示しており、職員は日々質の向上に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議において、評価を開示し改善点等について話し合い、記録に残している。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所は必要に応じて、市の担当者と連絡を取り、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族来訪時や、月に1度発行しているホーム便りの送付時に、利用者の日常生活の様子や身体状況・金銭管理について報告しており、家族から確認印をもらっている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関ホールに苦情・相談窓口を大きく明示しており、家族からの意見を積極的に聞き、運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>運営者は全職員を常勤で採用しており、利用者と馴染みの関係を築けるよう配慮している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は、職員の外部研修への積極的な参加を促している。また、参加後は報告書を作成し、記録として残している。さらに、管理者は日々職員の指導や助言を行い、質の向上に努めている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>運営者は地区のグループホーム協議会のリーダーであり、同業者とのネットワークづくりや研修会・勉強会においてサービスの質の向上に向けて取り組んでいる。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>生活相談員が利用者宅を訪問し、家族を交えて話し合っている。その後、運営者・管理者に説明がなされ、利用者と家族が共に事業所見学を行い、雰囲気にならぬよう段階を踏みながら、会議において入居決定が話し合われている。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は利用者から生活の知恵や調理方法等を教えてもらうことも多く、利用者と職員が共に生活する関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	利用者一人ひとりの思いや意向について、職員は利用者・家族から十分話を聞き、日々のケアに取り組んでいる。		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	利用者一人ひとりが、安心して暮らせるよう家族と十分に話し合いセンター方式も取り入れた介護計画を作成して、全職員で取り組んでいる。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	3ヶ月・6ヶ月ごとに介護計画の見直しを行っている。また、利用者本人・家族の意向や状況の変化に応じてそのつど見直しを行い、細かく記録に残している。		
<b>3.多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	家族からの要望に応じた柔軟な支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	利用者本人や家族が希望する医療を受けられるように支援している。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	終末期のあり方については、母体医療法人やかかりつけ医と連絡を取り、家族の意向を確認しながら方针对応を図っている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	運営者と管理者は個人情報の取り扱いについて日々職員に指導している。また、職員の利用者に対する対応は穏やかでプライバシーにも十分な配慮がなされている。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	一人ひとりの個性や体調に合わせ、その人らしいペースで生活できるような支援を実践している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員も利用者と一緒に食事を摂っている。また、食事の準備や後片付けなどは利用者の力量に応じて一緒に行っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に合わせた入浴支援を行っており、併設している老人保健施設の大浴場にて入浴する利用者もいる。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居時に家族から利用者の生活歴を聞き、本人の得意な分野や力を活かせるような支援を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	当事業所は自然豊かな環境に立地しており、利用者は日常的に散歩をし、どんぐり拾いや栗拾いなど季節ごとの楽しみ方ができるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間は防犯のため施錠しているが、日中は鍵をかけていない。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力の下、年に2回避難訓練を実施している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の指導の下、カロリー計算のされた献立を作成しており、職員は水分摂取量・食事の摂取量を把握している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は明るく広々としており、開放的な和室もある。また、事業所内は利用者が居心地良く過ごせるよう、季節に合わせた装飾品も飾られており、家庭的な雰囲気作りがなされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は広く、家族の宿泊も可能である。また、馴染みの物が持ち込まれており、その人らしい居室作りの工夫がなされている。		

 は、重点項目。